さいたま市立内谷中学校

白いノート

教育目標　・進んで学ぶ　・心豊か　・たくましく

令和５年９月２９日　　さわやか相談室　℡ 048-865-7573

〒336-0034　さいたま市南区内谷 6-10-1　℡ 048-861-7571　http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp

積み上げる

校長 髙山　俊介

９月上旬の青空にうろこ雲を見て、秋の気配を感じたのも束の間、その後も残暑続きました。今夏本当に厳しい暑さでしたが、それにも増して日本のスポーツ各分野で熱いドラマがありました。沖縄開催でのバスケットボールW杯において、初めて欧州のチームを破って４８年ぶりに五輪出場権を獲得したＡＫＡＴＳＵＫＩジャパン、陸上ワールドカップでの投てき種目初の金メダル･競歩での銅メダル獲得、U-１８野球世界大会の日本初優勝、サッカーキリンチャレンジカップでの森保ジャパンの欧州勢２連勝、ラグビーW杯における日本代表の激闘など感動と勇気をもらいました。そして、活躍・躍進というドラマの裏側を知れば知るほど、世界基準となればレベルも準備期間の年数も違い、簡単に口にしづらいのですが、改めて地道にコツコツと技術向上や肉体改造などを積み上げることの重要さとそれを支える精神力に敬服するとともに自分もそうありたいと思いました。

さて、スポーツの秋、芸術の秋。１０月の足音・秋虫の音色とともにやっと様々なことに打ち込むのに適した季節となりました。学校では１学期からの積み上げにより、生徒たちが大きくステップアップする学期です。まず皮切りに、昨年度３年ぶりに全校開催できた合唱祭を、今年度も市文化センターにて実施し、積み上げることができました。今年度は、座席間をあけることをせず、１階フロアに全生徒、２・３階に保護者の方々、ご来賓に学校運営協議会委員の皆様にお越しいただき、昨年度より多くの方に各学年・学級の発達段階に応じた合唱を観賞していただきました。

特に最高学年として、中学校最後の合唱祭に向けて、気持ちを前面に表現した第３学年の発表は見事でした。１日の締めくくりに、外部から招聘し審査委員長を務めていただいた方の指導講評では、第３学年としての使命･自覚を褒めたたえてくださいました。私も、まさに心が震えるという表現がぴったりのハーモニー・歌声だったと思います。何よりうれしかったのは後輩たちが、先輩たちの凛とした合唱を聴いて、きっとその背中を追い求めてくれると確信でき、今後の生徒の各教育活動での活躍や来年度の合唱祭への期待感が大きく膨らんだことです。また、９月３０日からの１週間を中心日として市新人体育大会が開催され、先輩からバトンを受け取った後輩たちが公式戦に挑みますので、ご支援ご声援をお願いいたします。

今月の２９日は開校記念日です。

歴史を紐解くと、昭和５７年４月１日に白幡中、南浦和中学校から分離独立して開校した同年の１０月２９日に校舎及び体育館の落成式が挙行され、その日が記念日として定められました。